

南医療生活協同組合の近未来構想」をつくりあげる、定例・公開の

第7回

10/20

10万人会議

に、あなたもごいっしょませんか

毎月第3土曜 午後2時～

コープ健診・フィットネスセンター3F

名古屋市緑区大高町平子36 南生協病院施設内

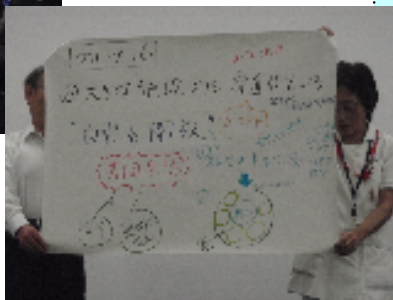
- ① 24時間在宅介護を支える訪問介護・訪問看護
 - ② 救急医療情報キットの普及
 - ③ まちの便利屋事業について
 - ④ 信託・不動産について
- の4つをテーマにグループワークを行います。

第6回10万人会議報告

125人の参加がありました。初参加の方も多く、長久手市の職員さんの参加もありました。

老健の進捗報告、成年後見人制度のポイント学習の後、「私が考える協同組合らしい看とりの家、地域ホスピスとは」をテーマにグループ討論を行いました。「自宅を開放したい」「空き家を探す」「土地を譲ってもらう」「医療、介護の専門職と連携しつつ地域でささえあう」などなど協同組合らしい「看とりの家」のイメージをふくらませることができました。

「初めてだったが楽しかった」「将来を考えさせられる会議だった」「成年後見人制度のこと聞けてよかった。勉強になった」などの感想が寄せられました。



グループ討論や感想文で出されたアイデア

①日常生活と変わらない生活感が味わえる家

- ・ 役割をもって楽しく過ごせる。ひとりひとりの居場所がある。
- ・ わがままが通せる。
- ・ 子どもの声などの音や家庭のにおいがある。
- ・ 散歩で立ち寄れる家

②淋しくない、人とつながりがある家

- ・ 近所のたまり場、お茶のみ、見回りを増やす、班会を増やす
- ・ 地域の組合員が遊びにいける。垣根が低い。
- ・ 生きていて良かった、笑いがある、ありがとうと言い合える
- ・ 胃ろうはつくらず仲間に囲まれ死ねる家
- ・ 地域の日常に溶け込む家
- ・ 夜のたまり場があるとよい。飲んで食べて泊まれる。中心は医療や介護でなく「赤ちょうちん」

③家探し、土地も譲ってもらう。人材活用も

- ・ 自宅を開放する。空き家をさがす。
- ・ 退職者にもう一回がんばってもらう
- ・ 年金で利用できる。
- ・ 安かろう悪かろうではいけない。
- ・ 経営は組合員がささえる。

④人としての尊厳が大事にされる。

⑤地域でのささえあい、まちづくりとして

- ・ 町内にひとつ。ボランティア、介護、医療の連携をしっかりと。狭い範囲で数件の家。
- ・ 町内単位での展開が必要。それがまちづくりになる。

第8回は、11月17日(土)14時～「老人保健施設について」をテーマにして行います。

発行：10万人会議共同代表会議・事務局